

あなたの会社は「ベテランの技」を仕組みにできていますか？

～属人化を『会社の力』に変えるチェックリスト～

「あの人がいないと現場が回らない」

「新人に任せたいけど、品質が不安」

そんな悩みは、ベテランの技が個人の中だけに閉じていることが原因かもしれません。

次の項目をチェックして、あなたの会社が「ベテラン依存から抜け出す仕組み」を持っているかを確認してみましょう。

1. 現場の『事実』を出せているか

- ☐ ベテランの作業を観察し、手順・判断・注意点を可視化している
- ☐ 「どの工程からどう進めるか」を現場で共有できている
- ☐ 「OK／NGの境目（判断基準）」を言葉で説明できる

2. 感覚を言語化できているか

- ☐ 「この音ならOK」「この温度感が違う」など、感覚を言葉や例で表している
- ☐ 「OKとNGの違い」を比較して伝える習慣がある
- ☐ 写真や動画など、感覚を補う『見える化』ツールを活用している

3. 知識を『仕組み』に落とし込んでいるか

- ☐ 改善点や注意点をチェックリストやマニュアルに整理している
- ☐ 現場全員が使える共通資料（比較写真・動画・治具など）がある
- ☐ 教える側と学ぶ側が、同じ基準で判断できる状態をつくっている

自己診断の方法

- 各項目で「はい」と思えばチェックを入れてください
- 合計チェック数で、今の状態を確認できます

判定と改善アドバイス

8～9 個：仕組み化が進んでいる状態

⇒ ベテランの技が『会社の知恵』として共有されています。

今後は、現場の知識を新人教育や改善活動に展開し、さらに組織力を高めましょう。

4～7 個：一部が弱い状態

⇒ 属人化を減らす取り組みは進んでいますが、整理や共有が十分ではありません。

まずは「5つの質問（手順・判断基準・注意点・感覚・問題パターン）」で現場の事実を出すことから始めましょう。

0～3 個：属人化が強い状態

⇒ ベテランの暗黙知が『個人資産』のままです。

最初の一步は、ベテランに「OK と NG の違い」を聞いてみることに。そこから『言葉になる技術』が始まります。

活用のポイント

このチェックリストは、社員を評価するためのものではありません。

経営者が「人の技術を会社の力に変える仕組み」を整えられているかを確認するための第一歩です。

ベテランの知恵が見える形にすれば、品質も育成も、そして会社の未来も安定します。